



たくましく心豊かで
すすんで学びあう
八幡っ子の育成



やはたっ子II

発行
令和7年5月1日
八幡小学校長



運をつかむ生きかた

今、放送中のNHK朝ドラ「あんぱん」は、やなせたかしさんと妻のぶさんの生き様がモデルとなっています。ご存じの通り、やなせたかしさんは「アンパンマン」の生みの親であり日本を代表する漫画家ですが、実は、アンパンマンがアニメ化され有名になったのは、やなせさんが69才のことです。売れるまでは、頼まれた仕事はなんでもこなし、編集者・舞台美術家・演出家・司会者・コピーライター・作詞家・シナリオライターなど様々な活動を行っていたそうです。

やなせさんは、仕事について、『この世界は「運・鈍・根」なんです。人生、いくらか鈍であって根気強くやっていると、運が巡ってきます。その時に、パッとつかむんです。ただ、つかむためには自分がやり続けていないといけない。』『こんなことをしていいのかと思っていたことが、みんな勉強になり、役に立っていく。人生にムダなことなんて、一つもないんですよ。』と語っておられます。

戦争を経験し、食べ物があることの大切さ、正義や生きることについて真剣に考えて生きてきたやなせさんだからこそ、名作「アンパンマン」や名曲「手のひらを太陽に」が生まれたのだと思うのです。

八幡小学校 HP

やはたっ子ぶろぐ



えらいお坊さんのお話

えらいお坊さんが「これから、3年間、小石を拾いましょう。3年後、きっとあなたたちは喜び、そして、悔しがるでしょう。」と村人に言いました。意味不明な言葉でしたが、素直に小石を拾い集めた人がいました。3年たちました。拾い集めた小石はどうなっていたと思いますか？全部ダイヤモンドに変わっていたのです。お坊さんが言った通り、拾った人は喜び、そうでない人は悔しがりました。

いろいろなところで、先人は、「本を読みましょ。」と言います。でも、若い時は、その話を上の空で聞いていますよね。しかし、若い時に読んだ本との出会いは、ある一定期間過ぎると、**ダイヤモンドの輝きを放つようになります。**（日本講演新聞編集長 水谷もりひとさんのお話から）

絵本、漫画、図鑑、小説など何からでもいいと思います。本を読むことや本を読む習慣を、大人も子どもも大切にしていきたいですね。

～行事予定～

- 1日(木) 家庭訪問(～2日)
- 3日(土) 憲法記念日 4日(日) みどりの日
- 5日(月) こどもの日 6日(火) 振替休日
- 7日(水) 諸費振替日 8日(木) 眼科検診
- 10日(土) PTA 奉仕作業 市PTA 理事会
- 12日(月) 腎臓検診(～13日)
- 15日(木) 歯科健診
- 16日(金) 諸費再振替日
- 24日(土) 運動会(午前弁当なし)
- 25日(日) 運動会予備日
- 26日(月) 運動会代休(土・日開催時)
- 29日(木) 腎臓検診(二次)
- 30日(金) 月曜時間割



新緑のクスノキ

今年度、1・2年生は毎日5時間授業としています。また、月曜日が休みになることが多いため、定期的に月曜日の時間割で授業を行うようにしています。